

令和元年度事業報告

令和元年度において実施した事業について、以下のとおり報告します。

第1 組織運営

1. 会員の異動状況

令和元年3月31日現在	231 社
令和元年度入会会員	14 社
令和元年度退会会員	6 社
令和2年3月31日現在	239 社

2. 総会、理事会等の開催

(1) 定時総会

第8回定時総会

日 時	令和元年6月7日(金) 16:00~
場 所	ホテルルポール麴町
報告事項	(1) 平成30年度事業報告について (2) 公益目的支出計画の実施完了の確認について (3) 令和元年度事業計画及び予算について
決議事項	第1号議案 平成30年度収支決算報告について 第2号議案 役員改選について
その他	協会創立50周年記念事業について

(2) 理事会

第1回理事会

日 時	令和元年5月20日(金) 13:30~
場 所	農業土木会館
議 題	第1号議案 平成30年度事業報告について 第2号議案 平成30年度収支決算報告について 第3号議案 役員改選について 第4号議案 専門委員の選任について 第5号議案 人材確保のためのPR動画及びパンフレット制作

業務委託契約について
その他 協会創立 50 周年記念事業実行委員会について

第 2 回理事会

日 時 令和元年 6 月 7 日（金）14：30～
場 所 ホテルルポール麴町
議 事 第 8 回定時総会について

第 3 回理事会

令和 2 年 3 月 24 日（火）農業土木会館にて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため開催を取りやめ、3 月 19 日付で書面表決を行った。

報告事項 ① 令和元年度事業報告（案）について
② 令和元年度決算見込について

議 題 第 1 号議案 令和 2 年度事業計画（案）について
第 2 号議案 令和 2 年度収支予算（案）について
第 3 号議案 会員の新規入会について

（3）委員会

① 総務企画委員会

3 回（5 月 10 日、9 月 13 日、3 月 11 日にメールで書面審査）開催し、理事会及び総会議案について審議した。

② 広報委員会

4 回（4 月 16 日、10 月 2 日、12 月 25 日、3 月 31 日）開催し、機関誌「JAGREE」96 号、97 号、98 号、創立 50 周年記念号の編集方針の審議等を行った。

第2 事業の概要

1. 調査研究等

(1) コンサルタンツ部門

コンサルタンツ幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

<主な調査・検討事項>

ア 円滑な業務の実施及び品質の高い成果の提供を行うため、入札・契約方式やその運用に関する課題、業務執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を実施し、以下について検討を行った。

(ア) 業務内容に応じた適切な入札契約方式（プロポーザル方式、総合評価方式、価格競争方式）の適用及び情報開示を要望。

(イ) 参加表明書・技術提案書等の重複資料の省略化、添付書類の削減と電子入札制度を生かした省力化及び低入札基準価格算定数値の引き上げ。

(ウ) 機能診断の調査・設計業務に係る歩掛りについて、適用条件・補正係数等を現場実態及び作業実態にあった積算を要望。

(エ) 設計業務の打合せの配置人員を業務実態に合わせるとともに、移動時間など適用条件の明確化。

(オ) 設計変更の適切な措置及び工事円滑会議に係る準備作業について作業実態に合った経費の計上を要望。

イ 設計歩掛りの改善に向けた専門部会を招集し、以下について引き続き検討を行った。

(ア) 設計照査歩掛りについて

(イ) 施工計画・仮設計画の歩掛りについて

(ウ) ストマネ業務の歩掛りについて

(エ) 施設機械・電機・水管理制御設備の歩掛りについて

(オ) 計画関連業務の設計歩掛りについて

<主な報告事項>

実態調査結果をもとに、「調査・測量・設計」業務の品質確保等に関する改善方策について関係機関に提案を行った。

令和元年度 コンサルタンツ幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1) コンサルタンツ幹事会	6月20日、9月18日	8	2
(2) 意見交換会 農林水産省	9月18日		1

(2) 水利施設保全管理補修部門

水利施設保全管理補修部門幹事会及び地方協会補修部門部会長等会議を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行った。

<主な調査・検討事項>

ア ガイドブックの工法分類の再編を行い、新規の工法の追加及び記載内容を最新版に更新する 2020 年版の編集方針について編集部会を開催し検討を行った。

イ 地方協会補修部門の活動内容について情報共有するとともに、要望・提案の統一要求事項について検討を行った。

ウ 補修補強マニュアルパイプライン編の課題について、専門部会を立ち上げ検討を行った。

<主な報告事項>

補修技術・工法を日々研鑽し、質の高い保全・補修工事を行うことを目的として、「中央研修会」を10月4日に交通ビルにおいて開催した。(7社発表112名参加)

令和元年度水利施設保全管理補修部会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1) 設計・積算・施工幹事会	4月10日、8月30日、1月21日	6	3
(2) 地方協会補修部門 部会長等会議	8月7日	10	1
(3) 意見交換会 農林水産省	11月22日	—	1

(3) セメント製品部門

セメント製品幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

<主な調査・検討事項>

ア 「プレキャスト製品を活用した施工事例集」（平成 29 年 3 月）の改定要望を行うため、基礎資料として会員に最近年の国営事業地区における施工事例調査を行った。

イ 設計段階におけるプレキャスト製品採用に至った総合比較内容について、具体的な定量的表示の検討を行った。

ウ フリューム水路等の目地材についてWGを設置し課題と対応方針について検討を行った。

<主な報告事項>

「プレキャスト製品を活用した施工事例集」（平成 29 年 3 月）の改定資料として、関係機関に施工事例調査結果の情報提供を行った。

令和元年度セメント幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構 成 (名)	開 催 回数
(1)セメント製品部会幹事会	8月8日、1月23日	6	2
(2)意見交換会 農林水産省	4月23日、11月1日		2

(4) ポンプ部門、鉄構部門、電機機械部門

<主な調査・検討事項>

ア ポンプ部門、鉄鋼部門、電気機械部門（施設機械3部門）における工事執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を行った。

イ 国営事業で造成された排水ポンプ施設について、災害協定の基礎資料である諸元等をまとめた「国営排水ポンプ施設調書」の更新を行った。

<主な報告事項>

施設機械3部門における実態把握調査結果をもとに、関係機関に適切な工期設定と適切な設計変更の要請を行うとともに、施設機械工事と土木工事との分離発注の徹底についても要望を行った。また、工事円滑化会議、設計変更会議の実施上の課題等について意見交換を行った。（令和元年 10 月 11 日）

2. 研修等

(1) 農業水利施設機能総合診断士制度

既存の農業水利施設の機能維持及び保全管理を円滑にするため、農業水利施設機能総合診断士（機能総合診断士）の講習会及び認定試験を実施し、農業水利施設の機能診断・機能保全計画を適切かつ効率的に実施できる技術者を機能総合診断士として認定。また、機能総合診断士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

ア 講習会・認定試験の実施

令和元年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数 (名)
講習会	東京会場	9月24日～9月26日（3日間）	65
認定試験	東京会場	11月30日	54
	京都会場	11月30日	38

認定試験結果：受験者数 83名 合格者 21名（合格率 25.3%）

農業水利施設機能総合診断士合格者 累計 768名

イ 関係委員会の実施

令和元年度 関係委員会開催状況

委員会名	構成(名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	3
講習委員会	9	2
試験委員会	6	5

ウ 登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録及び登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、提出された業務経験等レポート及びJAGREE学習レポートを審査し、一定水準に達した者について更新を行った。

新規登録者 22名、更新登録者 98名

総合診断士登録者 665名

エ 登録者名簿の公表

診断業務に機能総合診断士の有効活用を図るため、「農業水利施設機能総合診断士 登録者名簿」を作成し、ホームページに公表した。

(2) 農業水利施設補修工事品質管理士制度

農業水利施設の補修工事の施工及び施工管理に関わる現場技術者を育成するため、農業水利施設補修工事品質管理士（品質管理士）の講習会及び認定試験を実施し、補修材料の品質管理及び補修工事の施工管理を習得した技術者を品質管理士として認定。

また、品質管理士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

ア 講習会・認定試験の実施

令和元年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数 (名)
講習会	仙台会場	6月24日～25日（2日間）	74
	東京会場	6月13日～14日（2日間）	23
	京都会場	7月1日～2日（2日間）	37
	福岡会場	6月17日～18日（2日間）	45
認定試験	仙台会場	9月7日	85
	東京会場	9月7日	27
	京都会場	9月7日	43
	熊本会場	9月7日	51

認定試験結果：受験者数 198名 合格者 111名（合格率 56.1%）

農業水利施設補修工事品質管理士合格者 累計 1,266名

イ 関係委員会の実施

令和元年度 関係委員会開催状況

委員会名	構成(名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	3
講習委員会	9	1
試験委員会	5	2

ウ 登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録及び登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、インターネット公開講座の視聴及び実務経験等レポートの提出のあった者について更新を行った。

新規登録者 107 名、更新登録者 122 名

品質管理士登録者 1,071 名

エ 登録者名簿の公表

補修工事の品質管理及び施工管理に品質管理士の有効活用を図るため、「農業水利施設補修工事品質管理士登録者名簿」を作成し、ホームページに公表した。

(3) 地方協会等活動への支援

ア 地方協会が行う要請活動等への参画

地方協会による要請活動等へ参画し、活動支援を行った。

イ 地方協会が行った要請活動内容のとりまとめ

地方協会の要望提案事項を取りまとめ、情報の共有化を図るため地方協会に配布した。

(4) 他団体活動への協力

(公社) 農業農村工学会、全国農村振興技術連盟等の主催する研修会に参加した。

(5) 協会創立 50 周年記念事業の準備

協会創立 50 周年記念事業実行委員会等を設置し、記念事業として実施する 3 事業①記念式典②人材の確保育成③会員技術の PR について企画・立案を行った。

3. 広報活動

(1) 機関誌「JAGREE」の発行

機関誌「JAGREE」96 号、97 号を各 2,000 部発行し、会員及び関係機関、団体に配布した。

(2) 会員名簿の作成・配布

令和元年度版の協会 8 部門の会社名及び地方協会担当者を掲載した会員名簿を会員等に配布した。

4. 災害協定

ア 「災害時の応急対策業務に関する協定書」の第 4 条（業務の実施体制等）に基づく今年度の連絡体制及び実施体制を定め地方農政局長に報告するとともに、土地改良施設である排水機場の地震等の大規模な自然災害の発生に備えた。

イ 令和元年 10 月の台風 19 号による豪雨災害等に関し、農林水産省からの協力要請に基づく一連の対応を行った。

5. 図書刊行事業

令和元年度は、「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル 鋼矢板水路腐食対策（補修）編（案）」を発行するとともに、「農業水利施設保全補修ガイドブック（平成 30 年）」等 12 種類の専門図書を頒布した。